

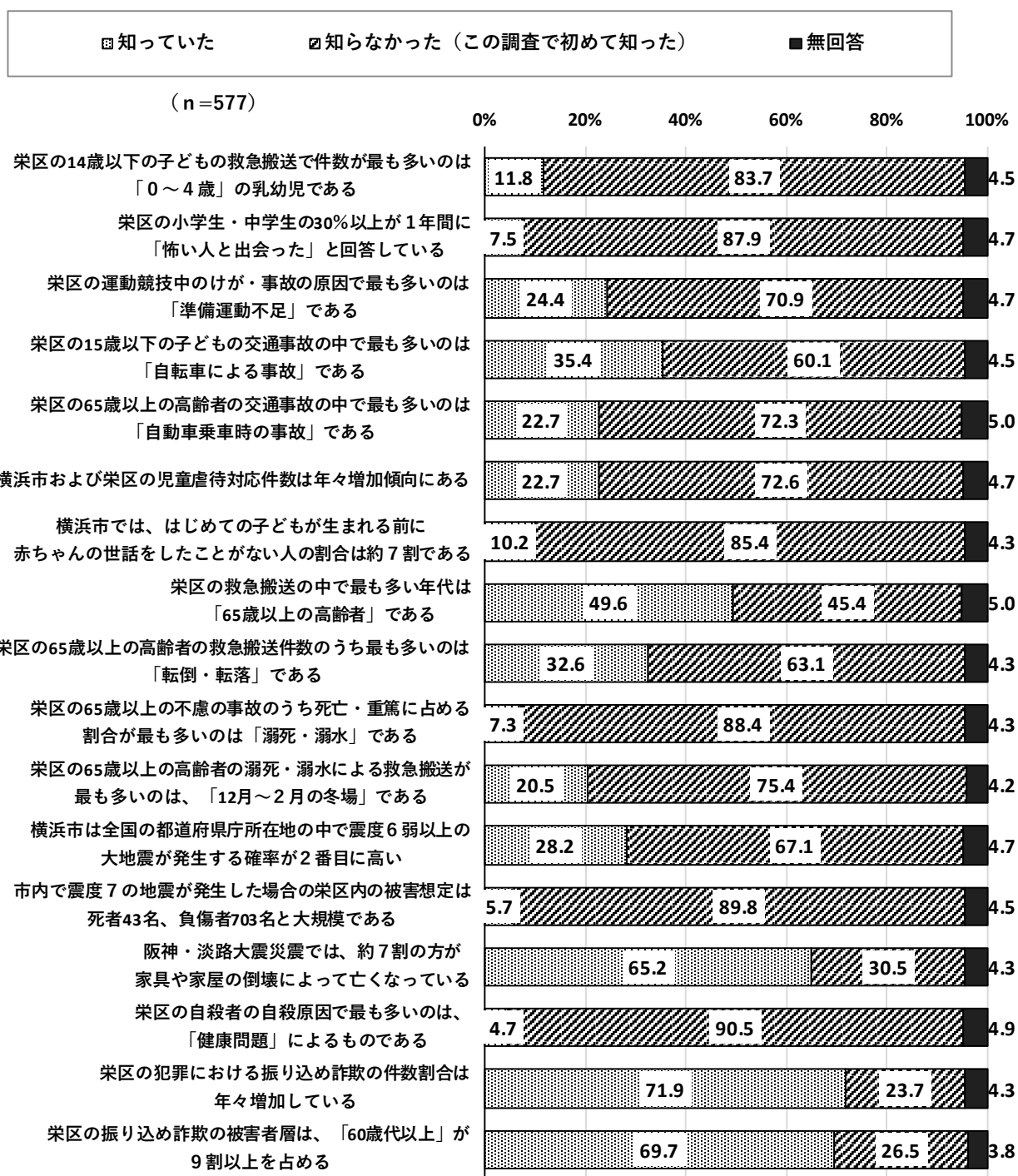
## 2 日常生活におけるけが・事故の危険性

### (4) けが・事故の危険性の認知度

#### <全体>

- ・けが・事故の危険性について、振り込め詐欺に関する2問は「知っていた」方が70%前後と高い割合になった。その一方、栄区の自殺者の自殺原因と市内で震度7の地震が発生した場合の栄区内の被害想定について「知っていた」方は5%前後と、低い割合となっている。
- ・全ての項目について男女別で見るとほとんどの項目において「男性」より「女性」の方が、「知っていた」割合が高い。「栄区の運動競技中のけが・事故の原因で最も多いのは「準備運動不足」のみ「女性」より「男性」の方がわずかに高くなっている。

#### 問4 けが・事故の危険性についての認知度



【けが・事故の危険性の認知度：時系列】

＜平成28年度調査と比較＞

- ・平成28年度と比較すると、「知っている」割合は、「横浜市は全国の都道府県庁所在地の中で震度6弱以上の大地震が発生する確率が2番目に高い」「阪神・淡路大震災／過去の熊本地震では、約7割の方が家具や家屋の倒壊によって亡くなっている」「栄区の犯罪における振り込め詐欺の件数割合は年々増加」の3項目で増加がみられる。

問4 けが・事故の危険性についての認知度

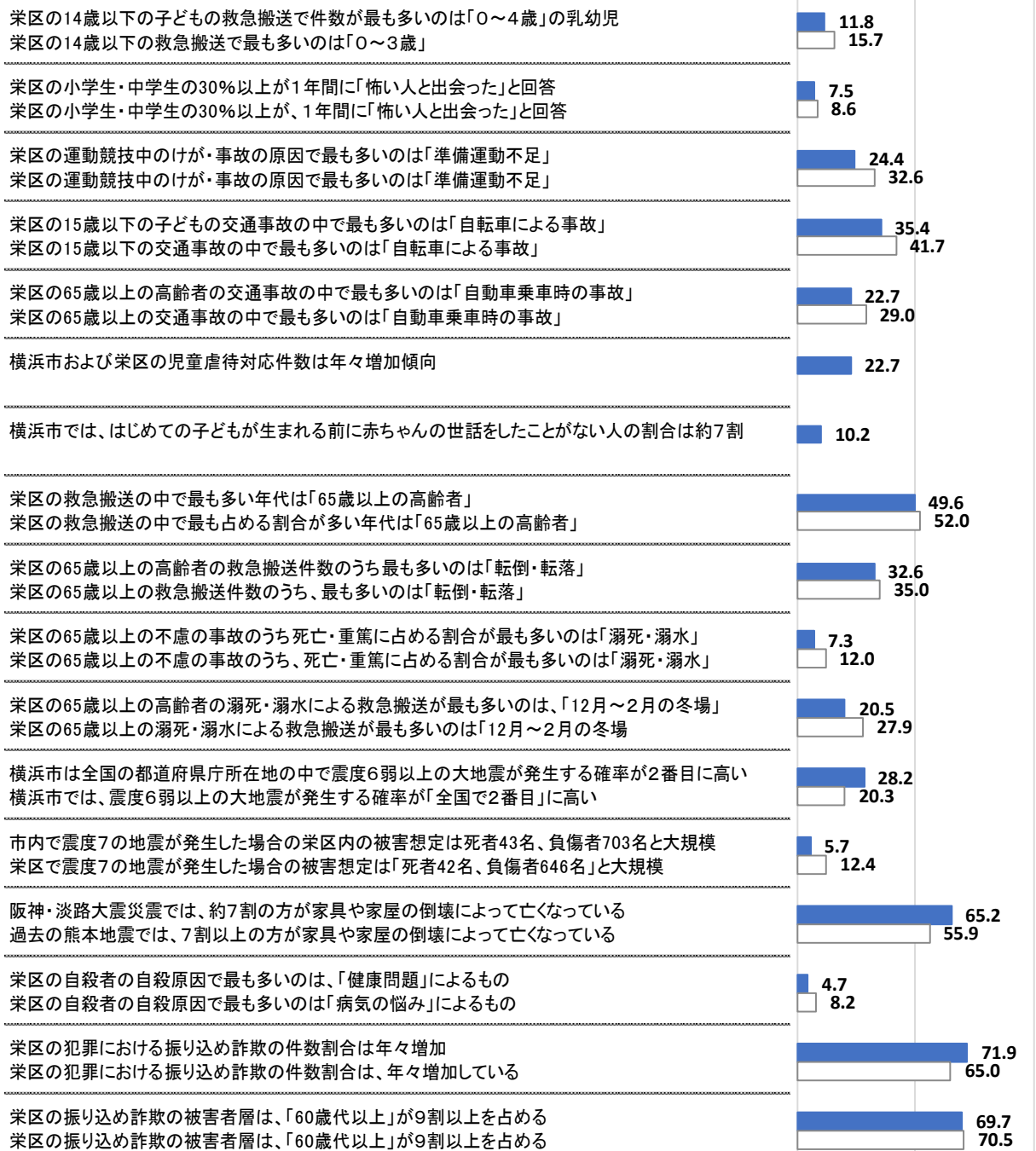
平成30年度調査（知っていた）

平成28年度調査（知っている）

■平成30年度調査（n=577）

□平成28年度調査（n=631）

0% 50% 100%



【けが・事故の危険性の認知度： 属性別】

1 栄区の14歳以下の子どもの救急搬送で件数が最も多いのは「0～4歳」の乳幼児

<性別>

・「男性」より「女性」の方が、「知っていた」で、11.7ポイント高い。

<年齢別>

・「30～39歳」では、「知っていた」の割合が全体より10ポイント以上高い。

<居住年数別>

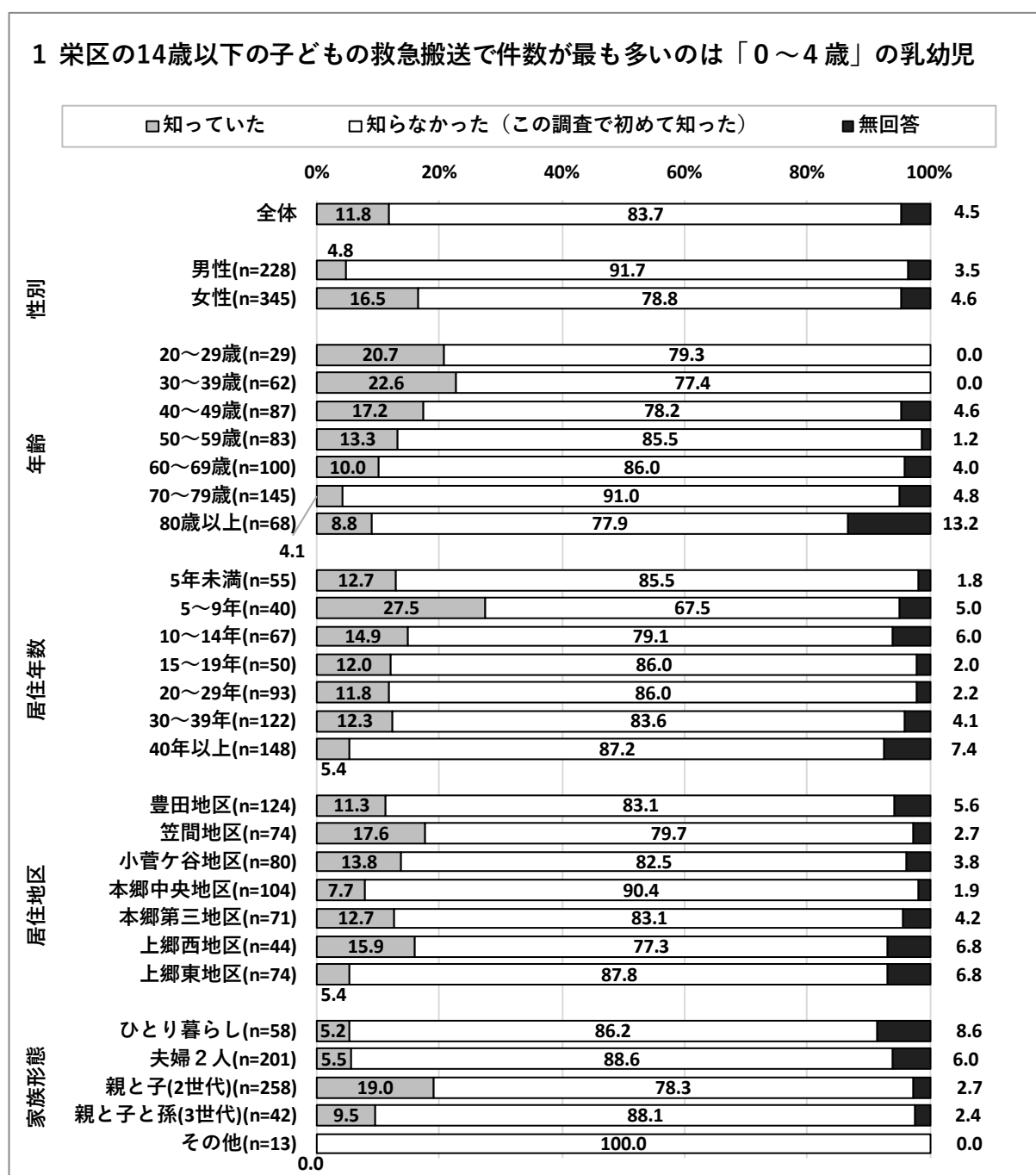
・「5～9年」では、「知っていた」の割合が全体より10ポイント以上高い。

<居住地区別>

・「笠間地区」では、「知っていた」の割合が全体より5ポイント以上高い。

<家族形態別>

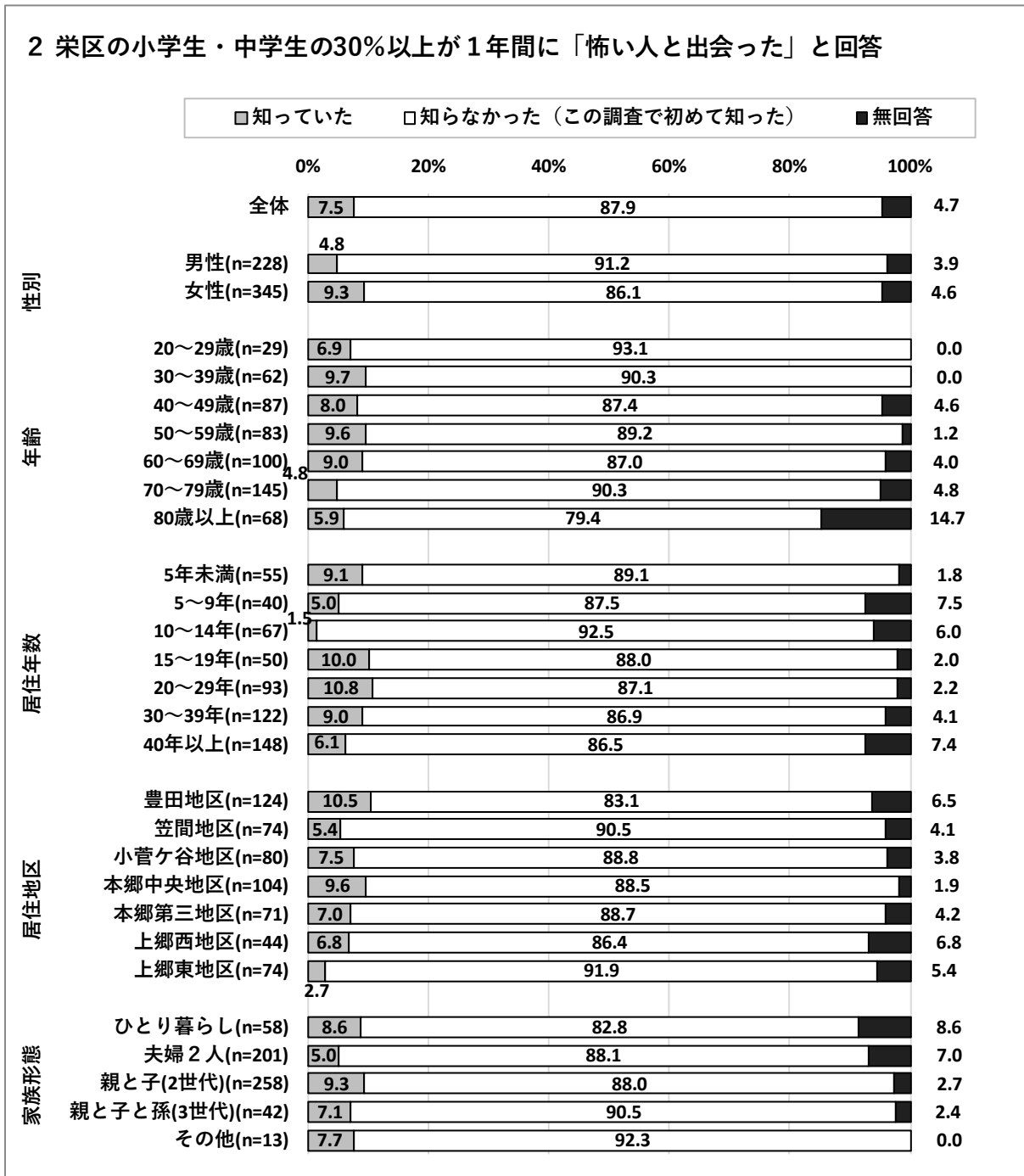
・「親と子(2世代)」では、「知っていた」の割合が全体より5ポイント以上高い。



2 栄区の小学生・中学生の30%以上が1年間に「怖い人と出会った」と回答

<全体>

・「知らなかった」が9割弱で、属性別では大きな差は見られない。



3 栄区の運動競技中のけが・事故の原因で最も多いのは「準備運動不足」

<性別>

・「女性」より「男性」の方が、「知っていた」で、3.9ポイント高い。

<年齢別>

・「80歳以上」では、「知っていた」の割合が全体より5ポイント以上高い。

<居住年数別>

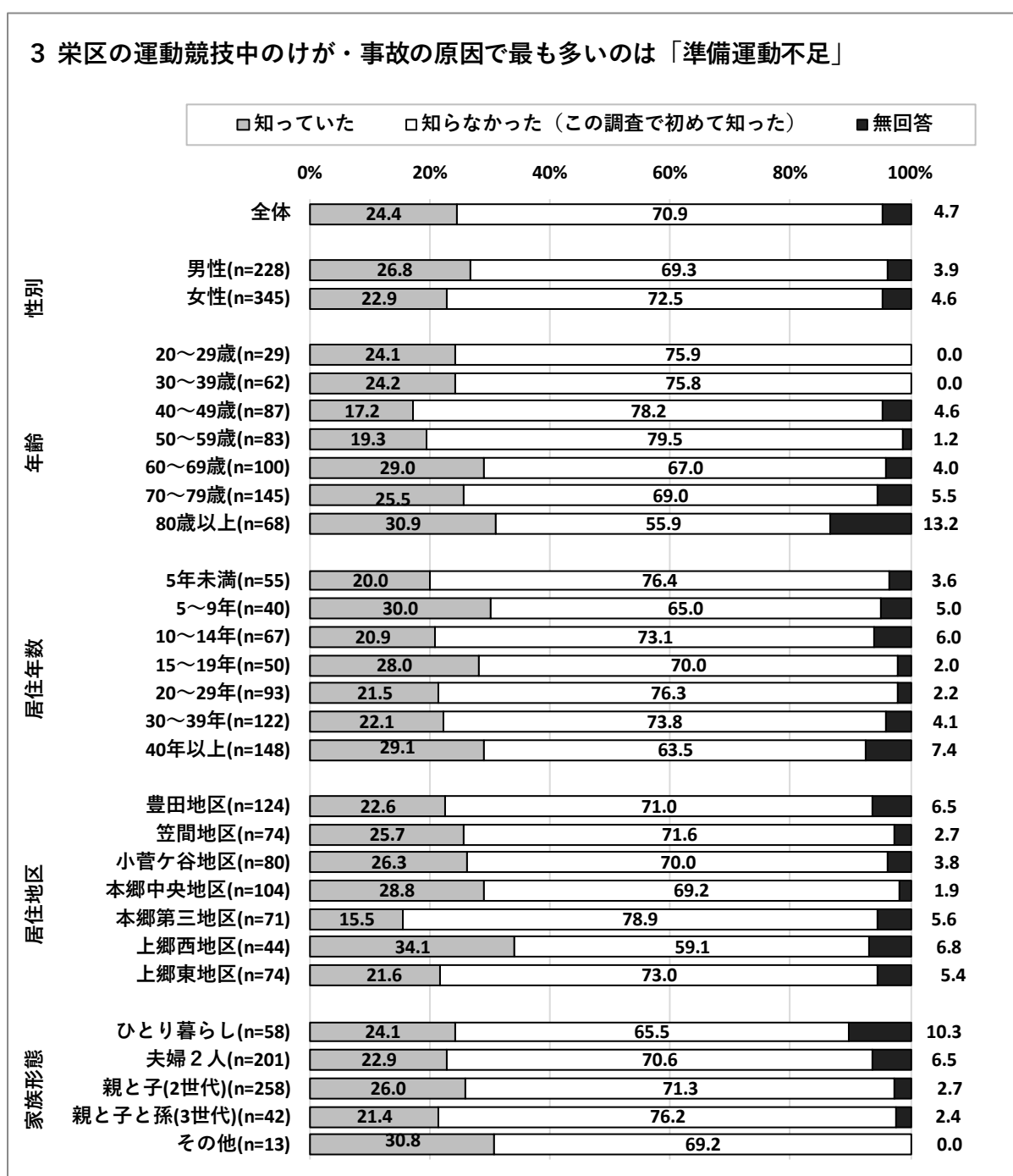
・「5～9年」では、「知っていた」の割合が全体より5ポイント以上高い。

<居住地区別>

・「上郷西地区」では、「知っていた」の割合が全体より5ポイント以上高い。

<家族形態別>

・家族形態別には大きな差は見られない。



4 栄区の15歳以下の子どもの交通事故の中で最も多いのは「自転車による事故」

<性別>

・「男性」より「女性」の方が、「知っていた」で、8.5ポイント高い。

<年齢別>

・「20～29歳」では、「知っていた」の割合が全体より5ポイント以上高い。

<居住年数別>

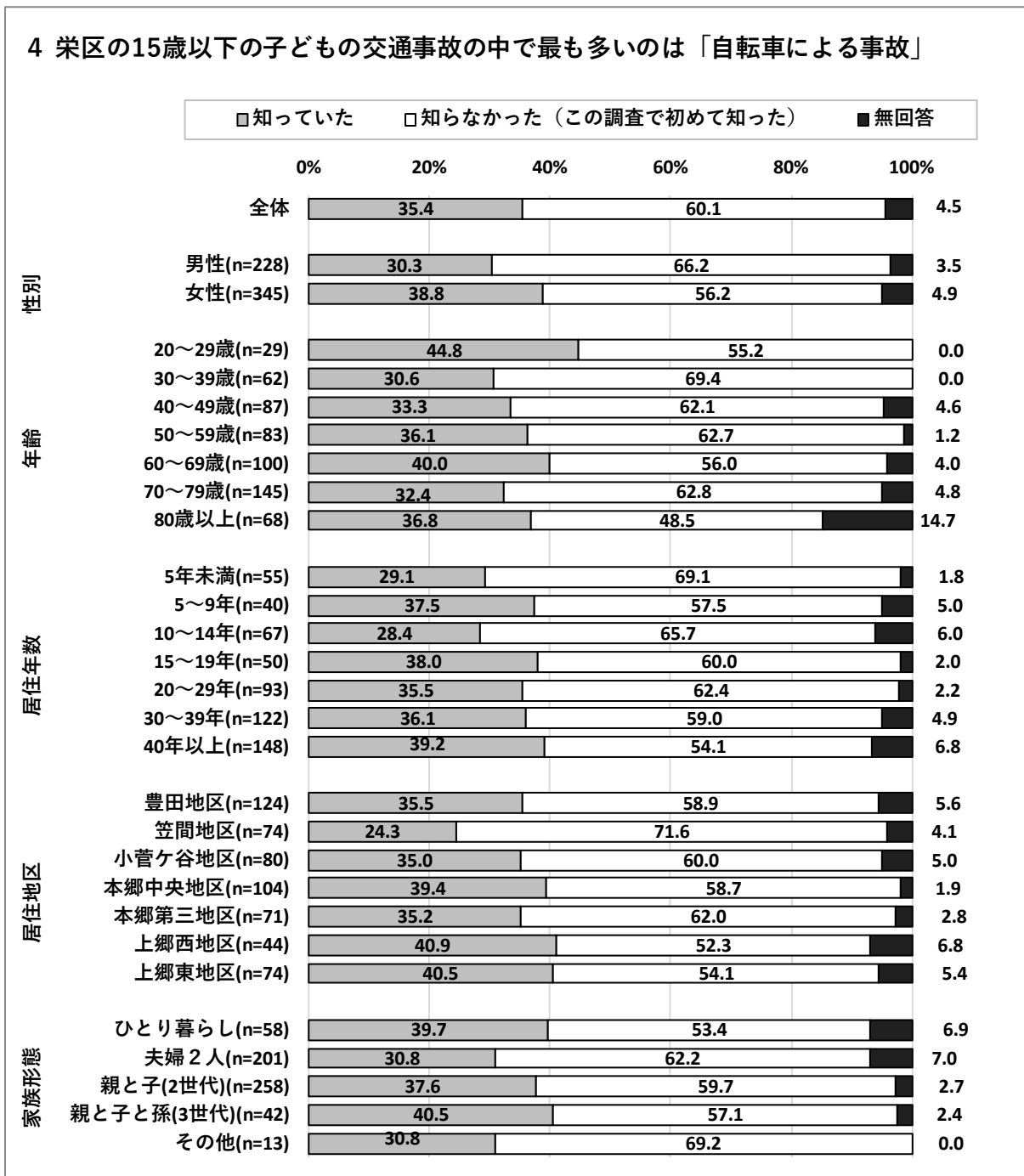
・居住年数別には大きな差は見られない。

<居住地区別>

・「上郷西地区」「上郷東地区」では、「知っていた」の割合が全体より5ポイント以上高い。

<家族形態別>

・「親と子と孫（3世代）」では、「知っていた」の割合が全体より5ポイント以上高い。



5 栄区の65歳以上の高齢者の交通事故の中で最も多いのは「自動車乗車時の事故」

<性別>

・「男性」より「女性」の方が、「知っていた」で、2.7ポイント高い。

<年齢別>

・「80歳以上」では、「知っていた」の割合が全体より10ポイント以上高い。

<居住年数別>

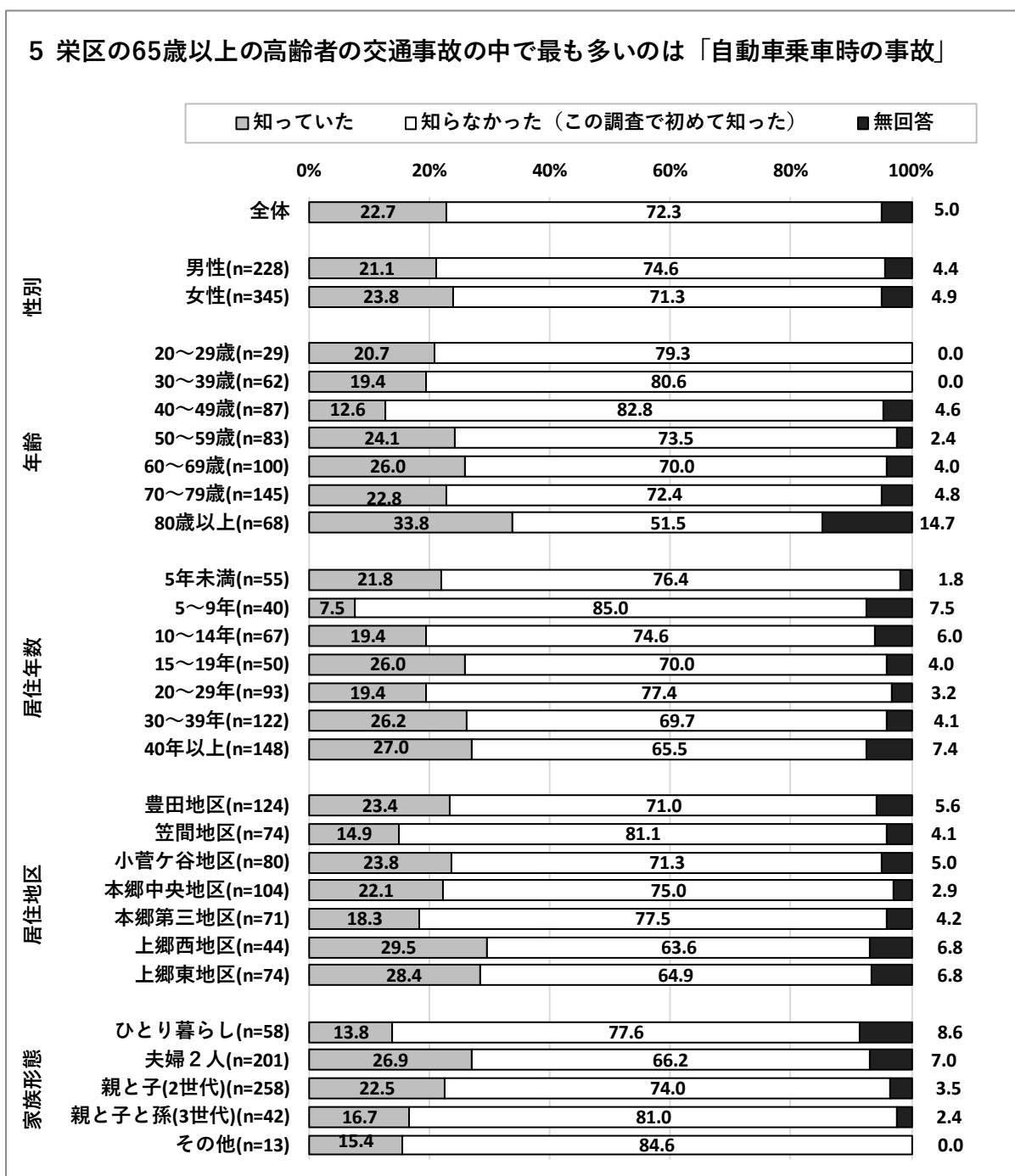
・居住年数別では、「5～9年」が全体より15ポイント低い。

<居住地区別>

・「上郷西地区」「上郷東地区」では、「知っていた」の割合が全体より5ポイント以上高い。

<家族形態別>

・ひとり暮らしでは、「知っていた」の割合が全体よりも5ポイント以上低い。



6 横浜市および栄区の児童虐待対応件数は年々増加傾向

<性別>

・「男性」より「女性」の方が、「知っていた」で、9.6ポイント高い。

<年齢別>

・「60～69歳」では、「知っていた」の割合が全体より5ポイント以上高い。

<居住年数別>

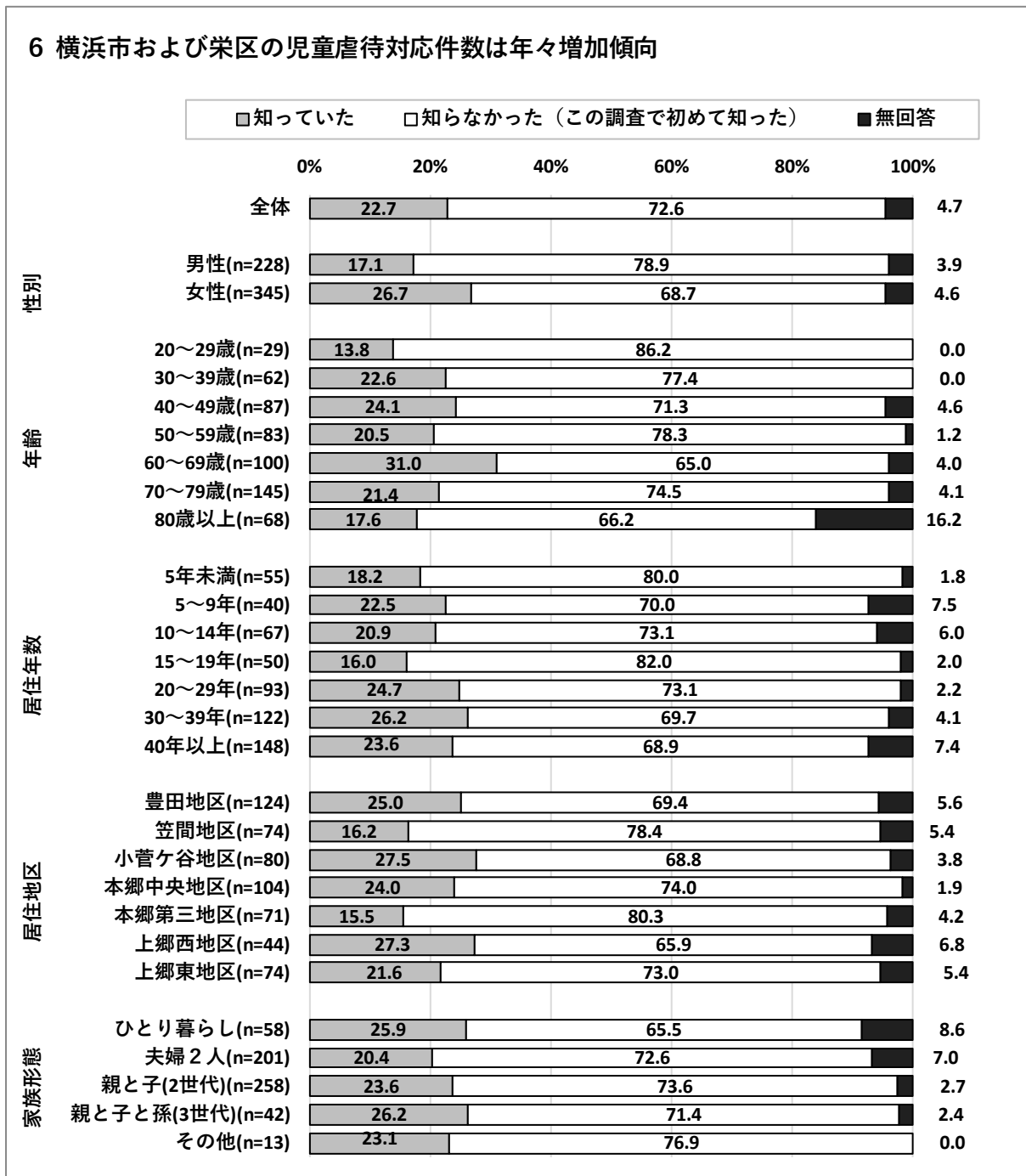
・居住年数別では、「15～19年」が全体より5ポイント以上低い。

<居住地区別>

・居住地区別では、「笠間地区」「本郷第三地区」で「知っていた」の割合が全体より5ポイント以上低い。

<家族形態別>

・家族形態別には大きな差は見られない。





7 横浜市では、はじめての子どもが生まれる前に赤ちゃんの世話をしたことがない人の割合は約7割

<性別>

・「男性」より「女性」の方が、「知っていた」で、3.7ポイント高い。

<年齢別>

・年齢別には大きな差は見られない。

<居住年数別>

・「15～19年」では、「知っていた」の割合が全体より5ポイント以上高い。

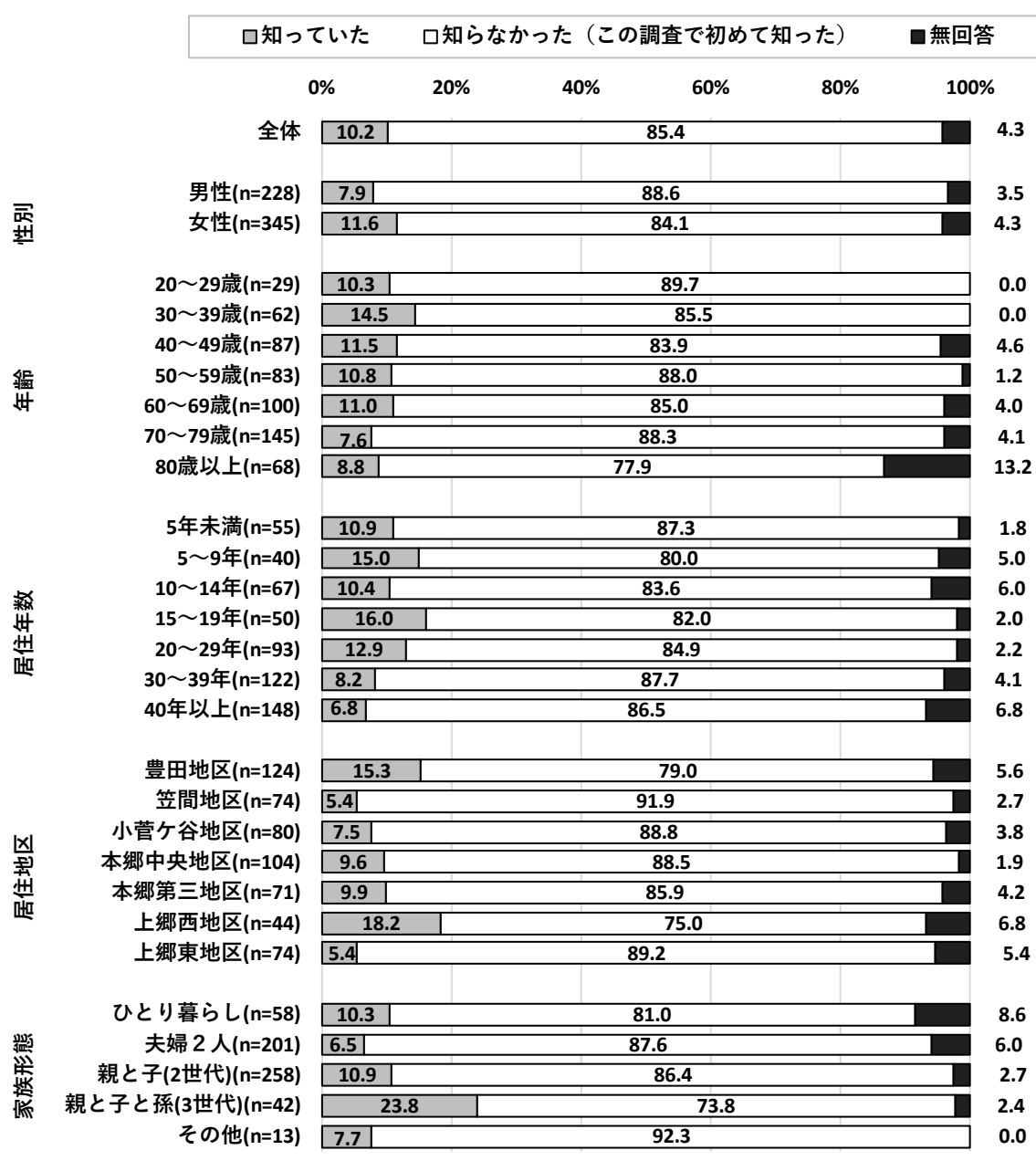
<居住地区別>

・「豊田地区」「上郷西地区」では、「知っていた」の割合が全体より5ポイント以上高い。

<家族形態別>

・「親と子と孫（3世代）」では、「知っていた」の割合が全体より10ポイント以上高い。

7 横浜市では、はじめての子どもが生まれる前に赤ちゃんの世話をしたことがない人の割合は約7割



8 栄区の救急搬送の中で最も多い年代は「65歳以上の高齢者」

<性別>

・「男性」より「女性」の方が、「知っていた」で、4.7ポイント高い。

<年齢別>

・「80歳以上」では、「知っていた」の割合が全体より10ポイント以上高く6割以上が知っている。

<居住年数別>

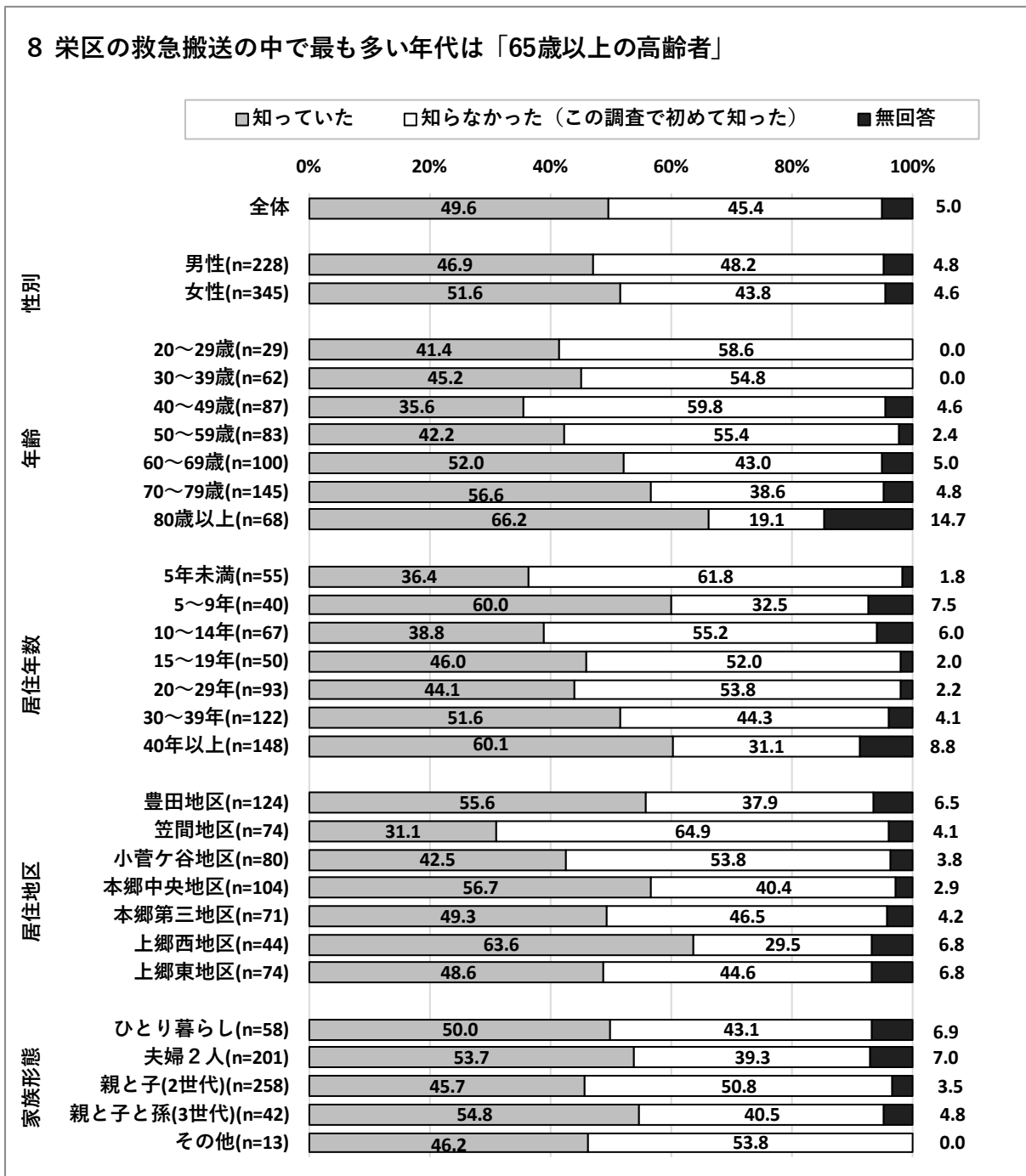
・「5～9年」「40年以上」では、「知っていた」の割合が全体より10ポイント以上高く6割以上が知っている。

<居住地区別>

・「上郷西地区」では、「知っていた」の割合が全体より10ポイント以上高く6割以上が知っている。

<家族形態別>

・「親と子と孫(3世代)」では、「知っていた」の割合が全体より5ポイント以上高い。



9 栄区の65歳以上の高齢者の救急搬送件数のうち最も多いのは「転倒・転落」

<性別>

・「男性」より「女性」の方が、「知っていた」で、4.7ポイント高い。

<年齢別>

・「80歳以上」では、「知っていた」の割合が全体より10ポイント以上高い。

<居住年数別>

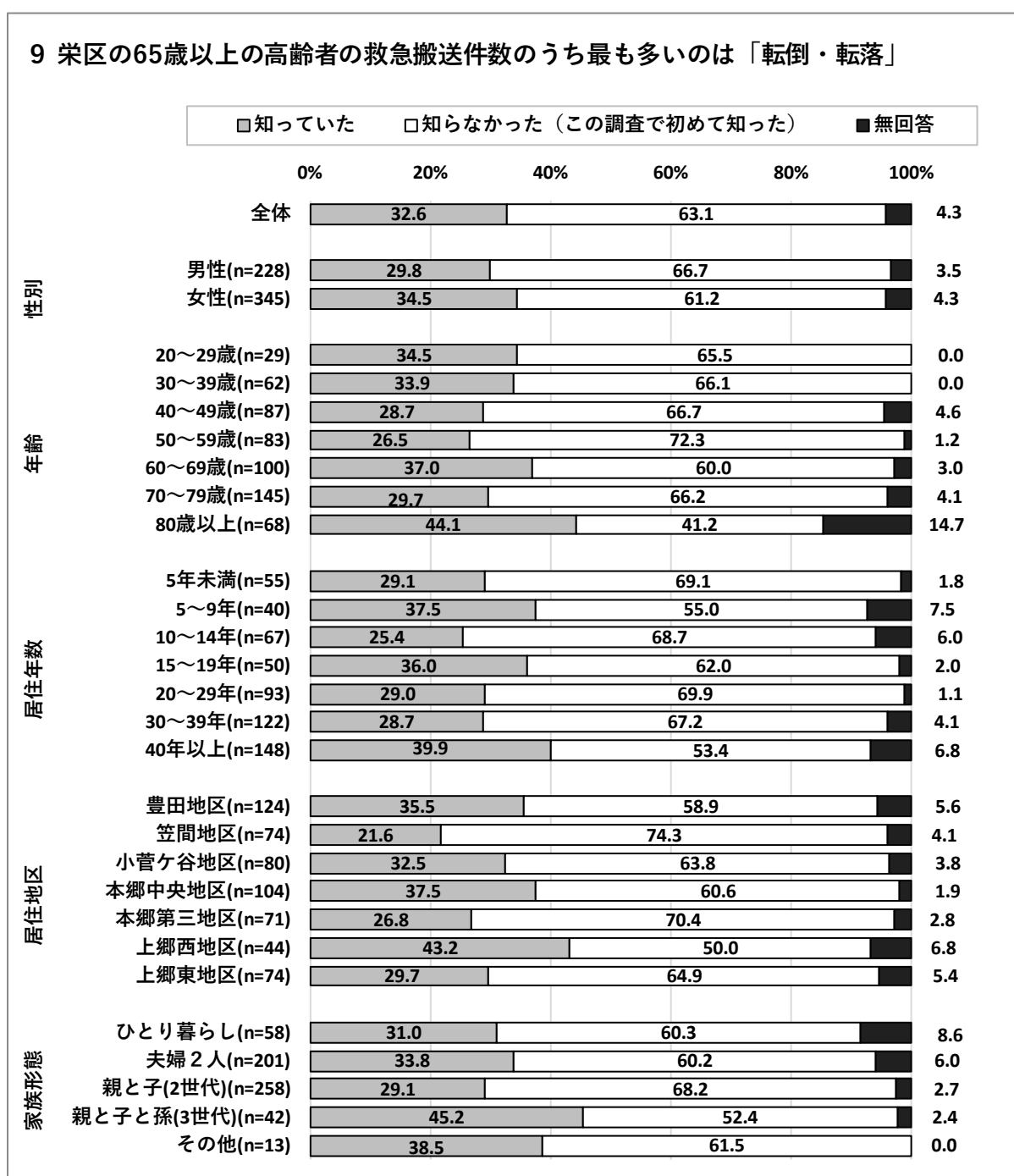
・「40年以上」では、「知っていた」の割合が全体より5ポイント以上高い。

<居住地区別>

・「上郷西地区」では、「知っていた」の割合が全体より10ポイント以上高い。

<家族形態別>

・「親と子と孫(3世代)」では、「知っていた」の割合が全体より10ポイント以上高い。



10 栄区の65歳以上の不慮の事故のうち死亡・重篤に占める割合が最も多いのは「溺死・溺水」

<性別>

・「男性」より「女性」の方が、「知っていた」で、2.0ポイント高い。

<年齢別>

・「60～69歳」では、「知っていた」の割合が全体より5ポイント以上高い。

<居住年数別>

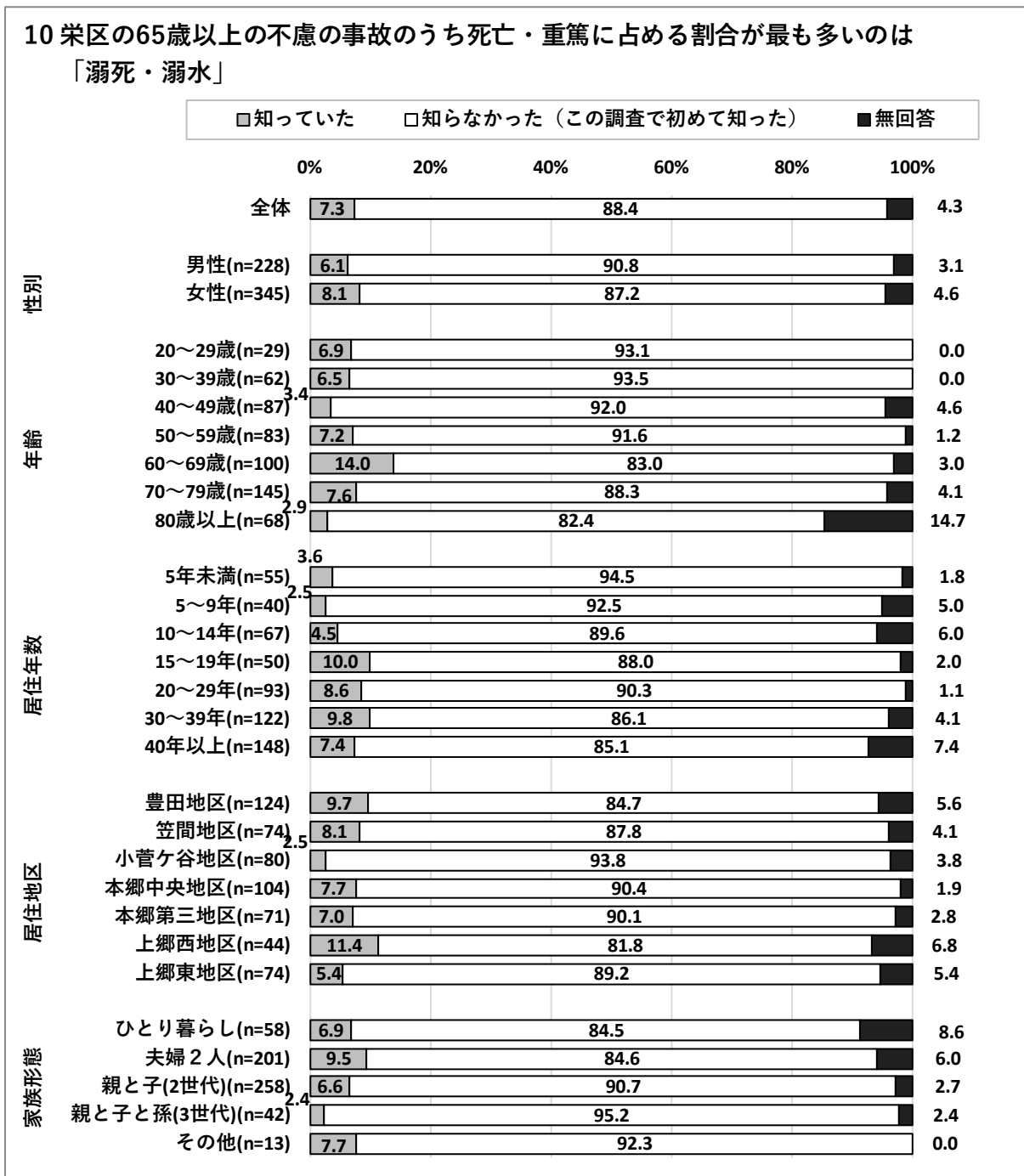
・居住年数別には大きな差は見られない。

<居住地区別>

・居住地区別には大きな差は見られない。

<家族形態別>

・家族形態別には大きな差は見られない。



11 栄区の65歳以上の高齢者の溺死・溺水による救急搬送が最も多いのは、「12月～2月の冬場」

<性別>

・「男性」より「女性」の方が、「知っていた」で、12.0ポイント高い。

<年齢別>

・「30～39歳」「60～69歳」では、「知っていた」の割合が全体より5ポイント以上高い。

<居住年数別>

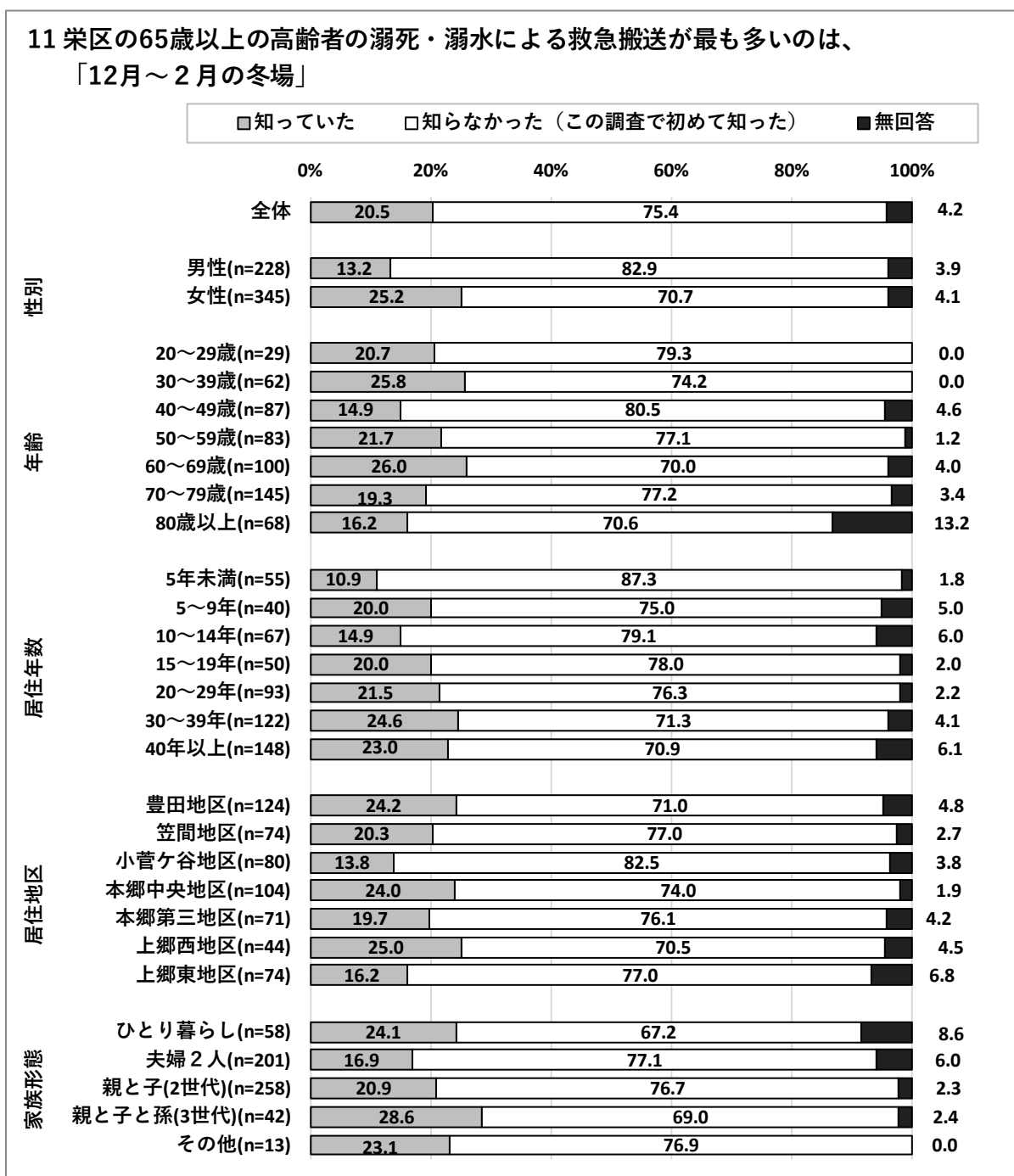
・居住年数別では、「5年未満」「10～14年」が全体より5ポイント以上低い。

<居住地区別>

・居住地区別では、「小菅ヶ谷地区」で全体より5ポイント以上低い。

<家族形態別>

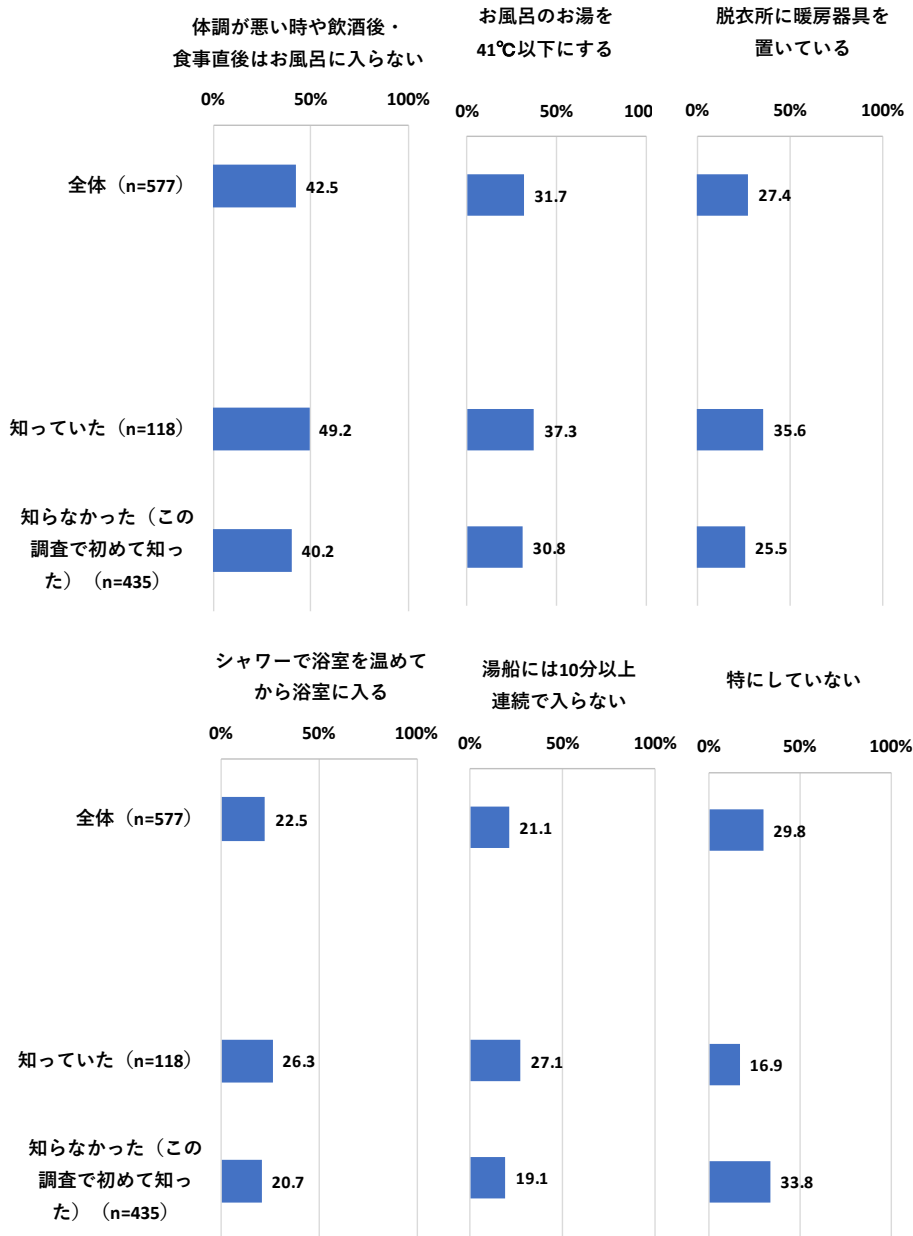
・家族形態別では、「親と子と孫（3世代）」では全体より5ポイント以上高い。



【けが・事故の危険性：ヒートショック対策別】

11 栄区の65歳以上の高齢者の溺死・溺水による救急搬送が最も多いのは、「12月～2月の冬場」

・ヒートショック対策について「知っていた」方は「知らなかった」方よりヒートショック対策を行っている割合は高い。特に「体調が悪い時や飲酒後・食事直後はお風呂に入らない」は9.0ポイント高くなっている。



12 横浜市は全国の都道府県庁所在地の中で震度6弱以上の大地震が発生する確率が2番目に高い

<性別>

・「男性」より「女性」の方が、「知っていた」で、4.2ポイント高い。

<年齢別>

・「30～39歳」では、「知っていた」の割合が全体より10ポイント以上高い。

<居住年数別>

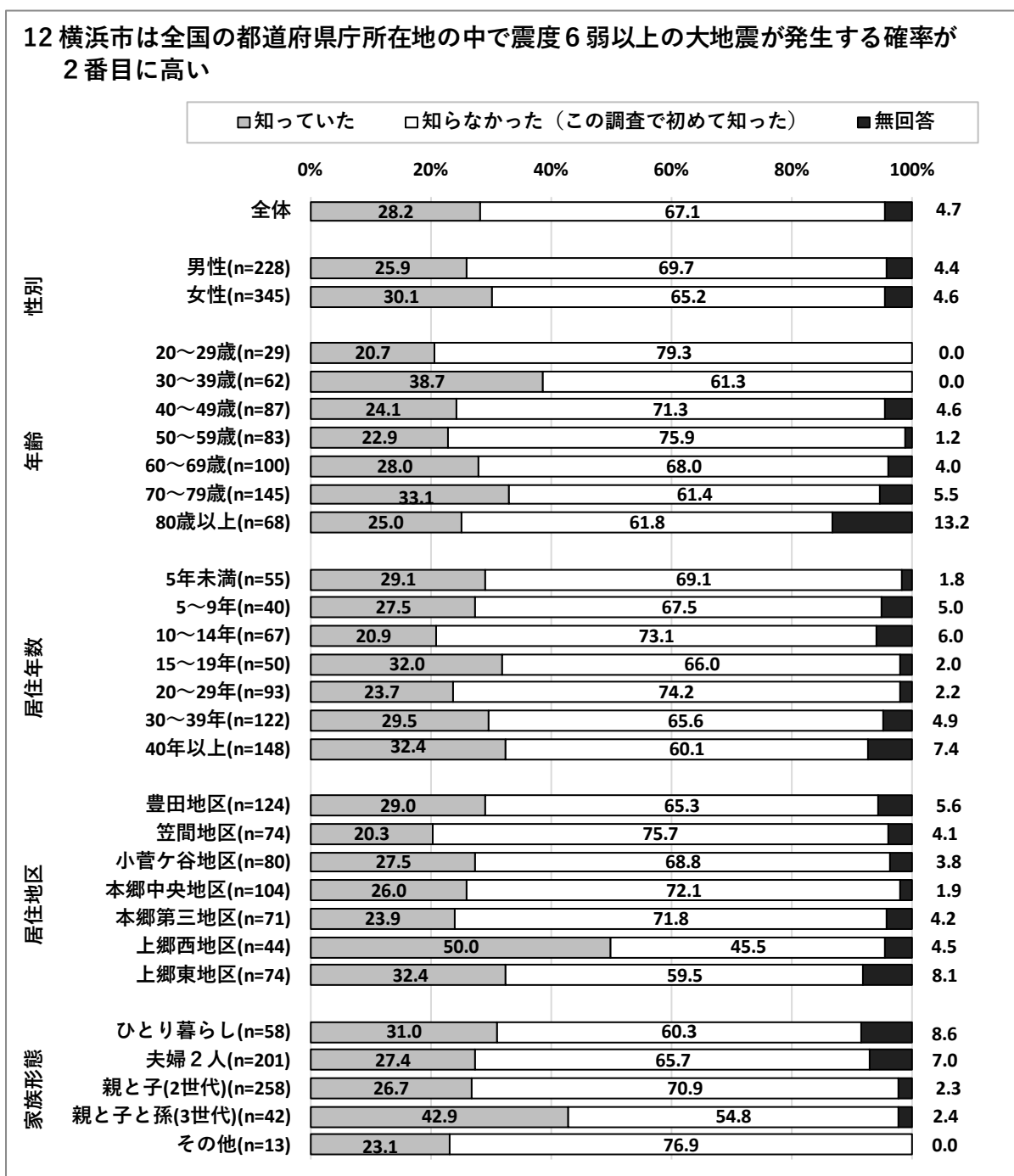
・居住年数別では、「10～14年」が全体より5ポイント以上低い。

<居住地区別>

・「上郷西地区」では、「知っていた」の割合が全体より20ポイント以上高い。

<家族形態別>

・「親と子と孫(3世代)」では、「知っていた」の割合が全体より15ポイント以上高い。

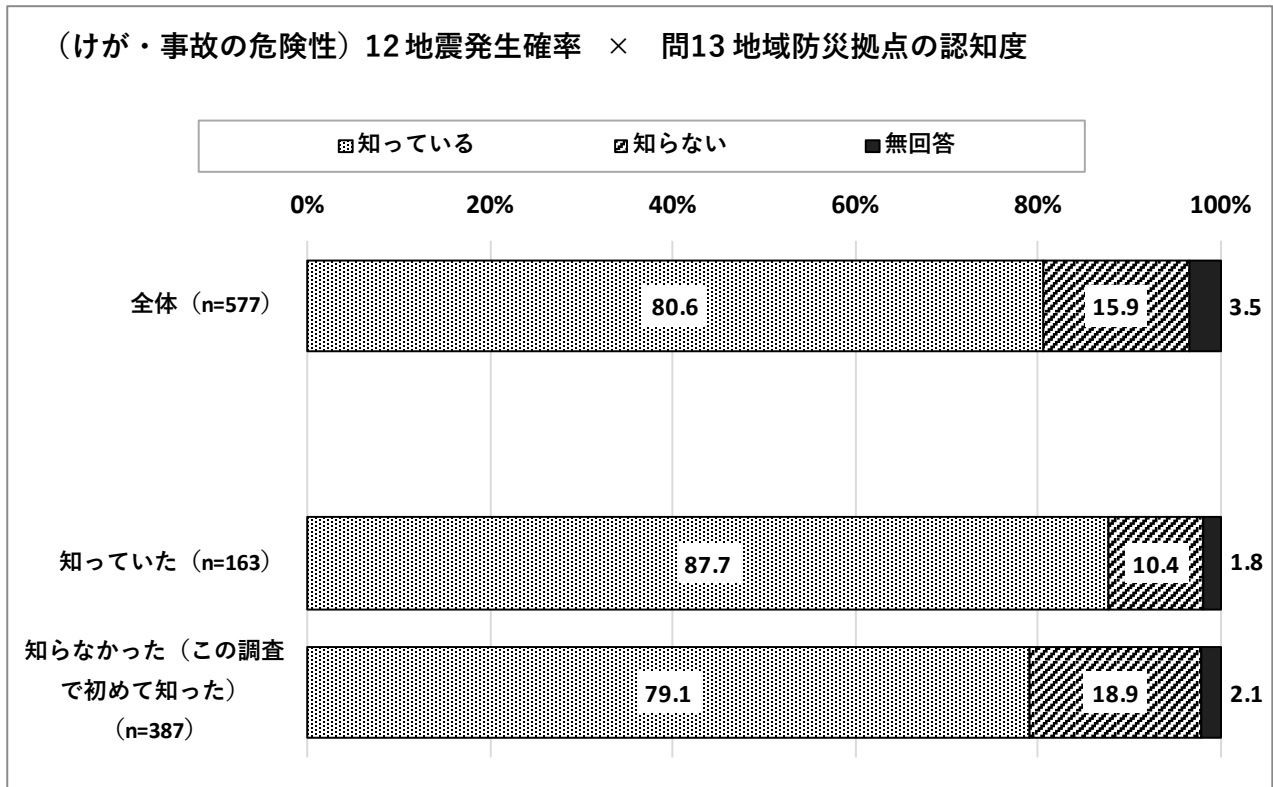


III 集計分析結果

【けが・事故の危険性：地域防災拠点の認知度別】

12 横浜市は全国の都道府県庁所在地の中で震度6弱以上の大地震が発生する確率が2番目に高い

・地震発生確率について「知っていた」方が「知らなかった」方より地域防災拠点の認知度が8.6ポイント高いが、「知っていた」「知らなかった」に関わらず地域防災拠点は8割近くの区民に認知されている。





13 市内で震度7の地震が発生した場合の栄区内の被害想定は死者43名、負傷者703名と大規模

<性別>

・「男性」より「女性」の方が、「知っていた」で、5.2ポイント高い。

<年齢別>

・年齢別には大きな差は見られない。

<居住年数別>

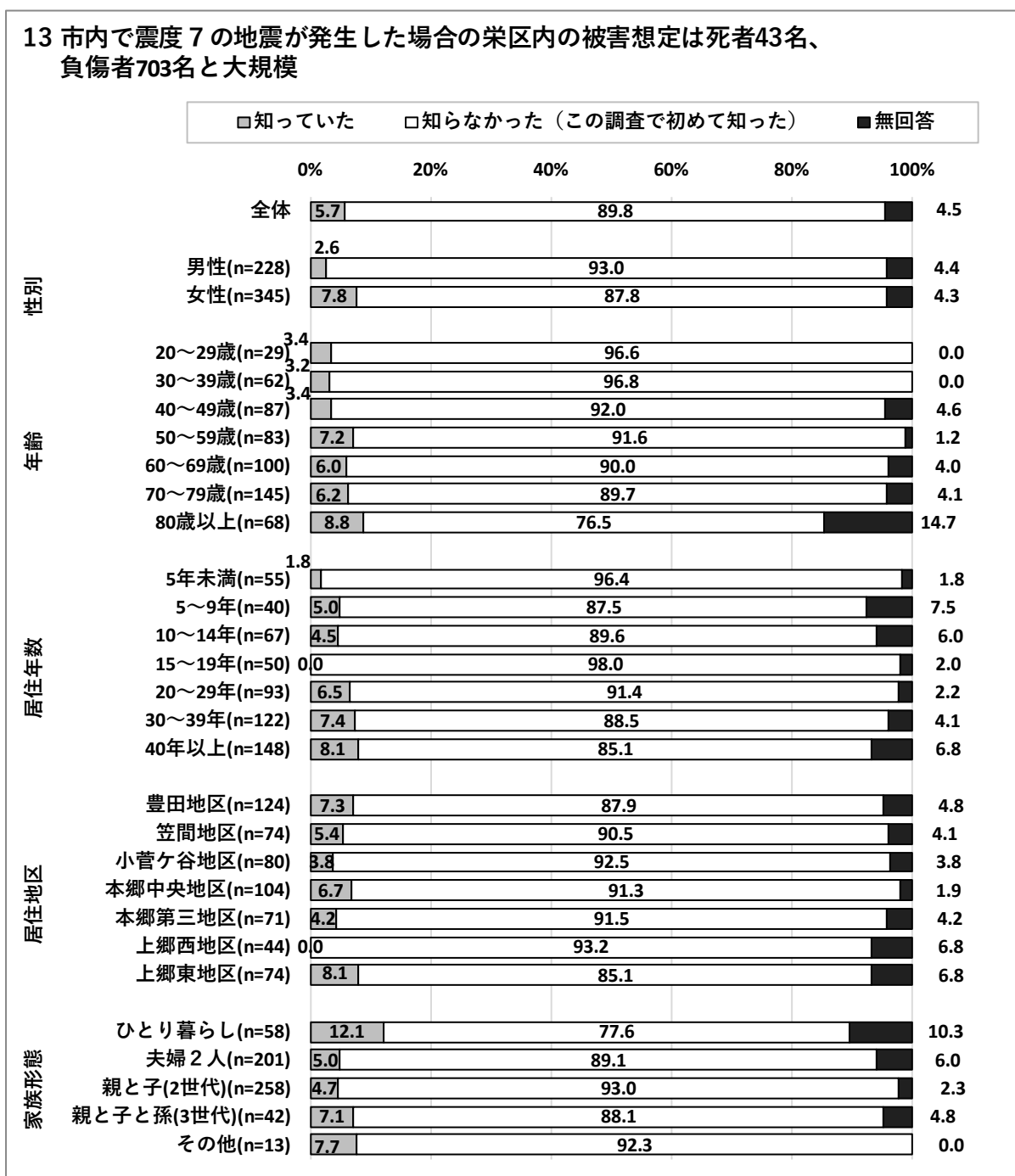
・居住年数別では、「15～19年」が全体より5ポイント以上低い。

<居住地区別>

・居住地区別では、「上郷西地区」で全体より5ポイント以上低い。

<家族形態別>

・「ひとり暮らし」では、「知っていた」の割合が全体より5ポイント以上高い。

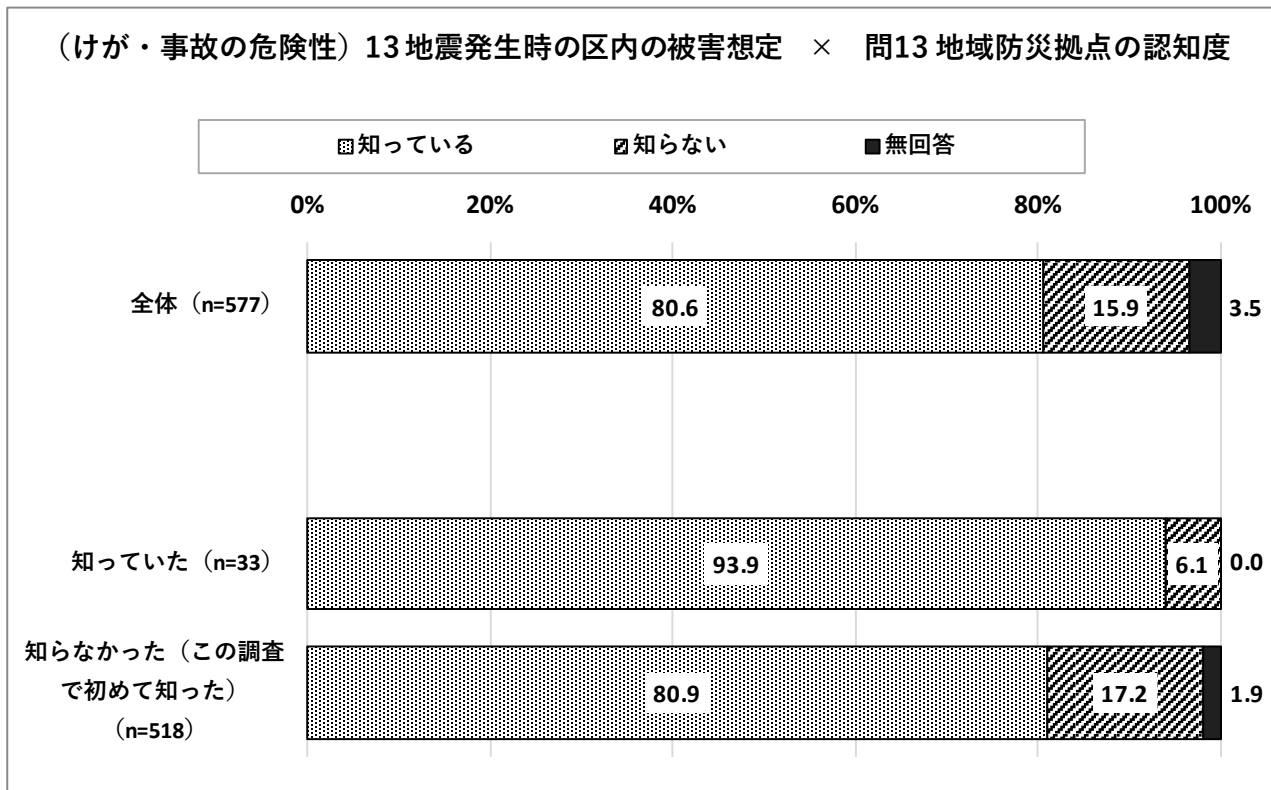


III 集計分析結果

【けが・事故の危険性：地域防災拠点の認知度別】

13 市内で震度7の地震が発生した場合の栄区内の被害想定は死者43名、負傷者703名と大規模

・地震発生時の区内の被害想定を「知っていた」方の方が「知らなかった」方より13.0ポイント地域防災拠点の場所を知っている割合が高い。



14 阪神・淡路大震災では、約7割の方が家具や家屋の倒壊によって亡くなっている

<性別>

・「男性」より「女性」の方が、「知っていた」で、11.8ポイント高い。

<年齢別>

・「60～69歳」「70～79歳」では、「知っていた」の割合が全体より5ポイント以上高い。

<居住年数別>

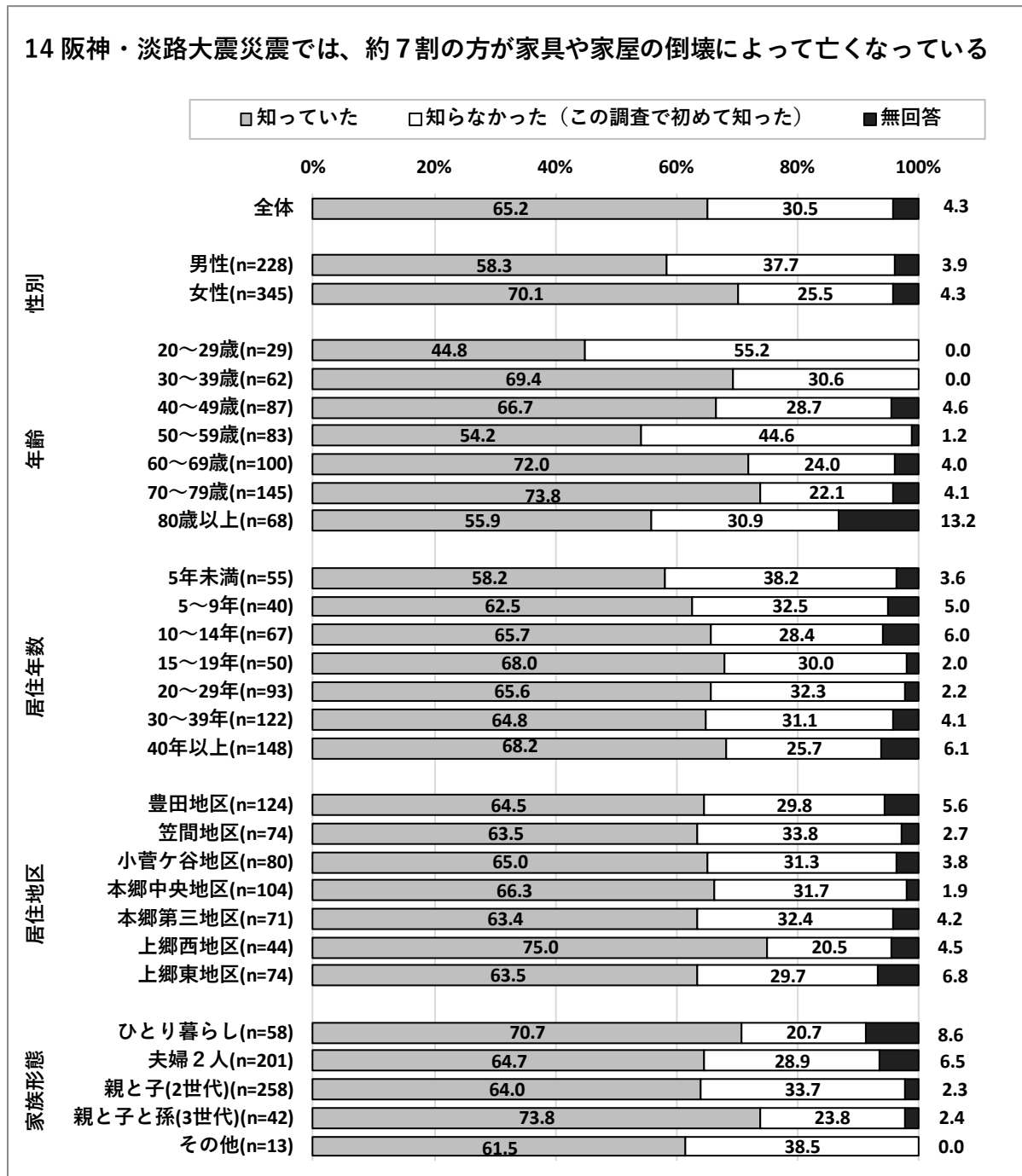
・居住年数別では、「5年未満」が全体より5ポイント以上低い。

<居住地区別>

・「上郷西地区」では、「知っていた」の割合が全体より5ポイント以上高い。

<家族形態別>

・「ひとり暮らし」「親と子と孫（3世代）」では、「知っていた」の割合が全体より5ポイント以上高い。



15 栄区の自殺者の自殺原因で最も多いのは、「健康問題」によるもの

<性別>

・「男性」より「女性」の方が、「知っていた」で、0.5ポイント高い。

<年齢別>

・年齢別には大きな差は見られない。

<居住年数別>

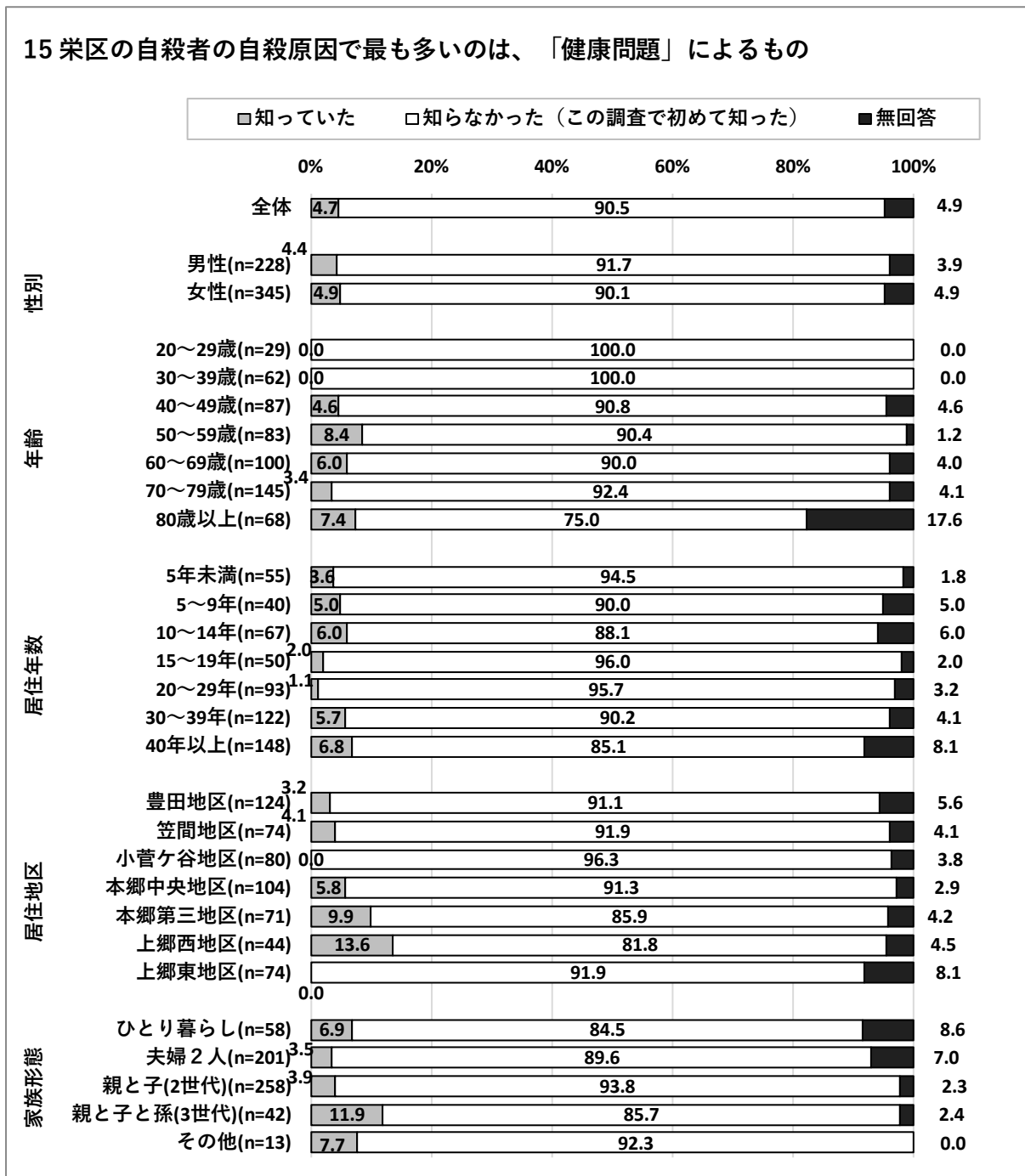
・居住年数別には大きな差は見られない。

<居住地区別>

・「本郷第三地区」「上郷西地区」では、「知っていた」の割合が全体より5ポイント以上高い。

<家族形態別>

・「親と子と孫（3世代）」では、「知っていた」の割合が全体より5ポイント以上高い。



16 栄区の犯罪における振り込め詐欺の件数割合は年々増加

<性別>

・「男性」より「女性」の方が、「知っていた」で、9.2ポイント高い。

<年齢別>

・「70～79歳」では、「知っていた」の割合が全体より10ポイント以上高い。

<居住年数別>

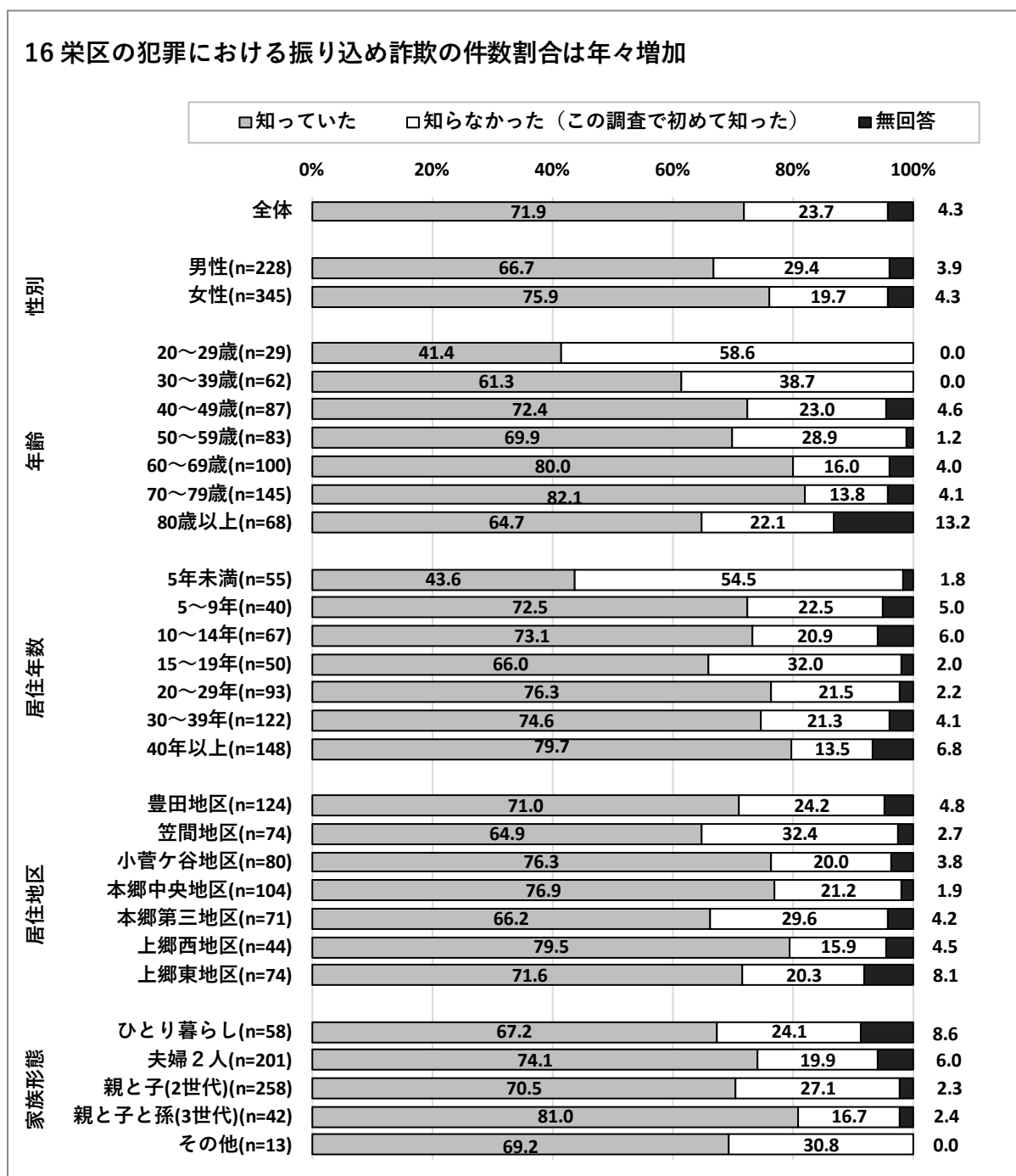
・「40年以上」では、「知っていた」の割合が全体より5ポイント以上高い。

<居住地区別>

・「本郷中央地区」「上郷西地区」では、「知っていた」の割合が全体より5ポイント以上高い。

<家族形態別>

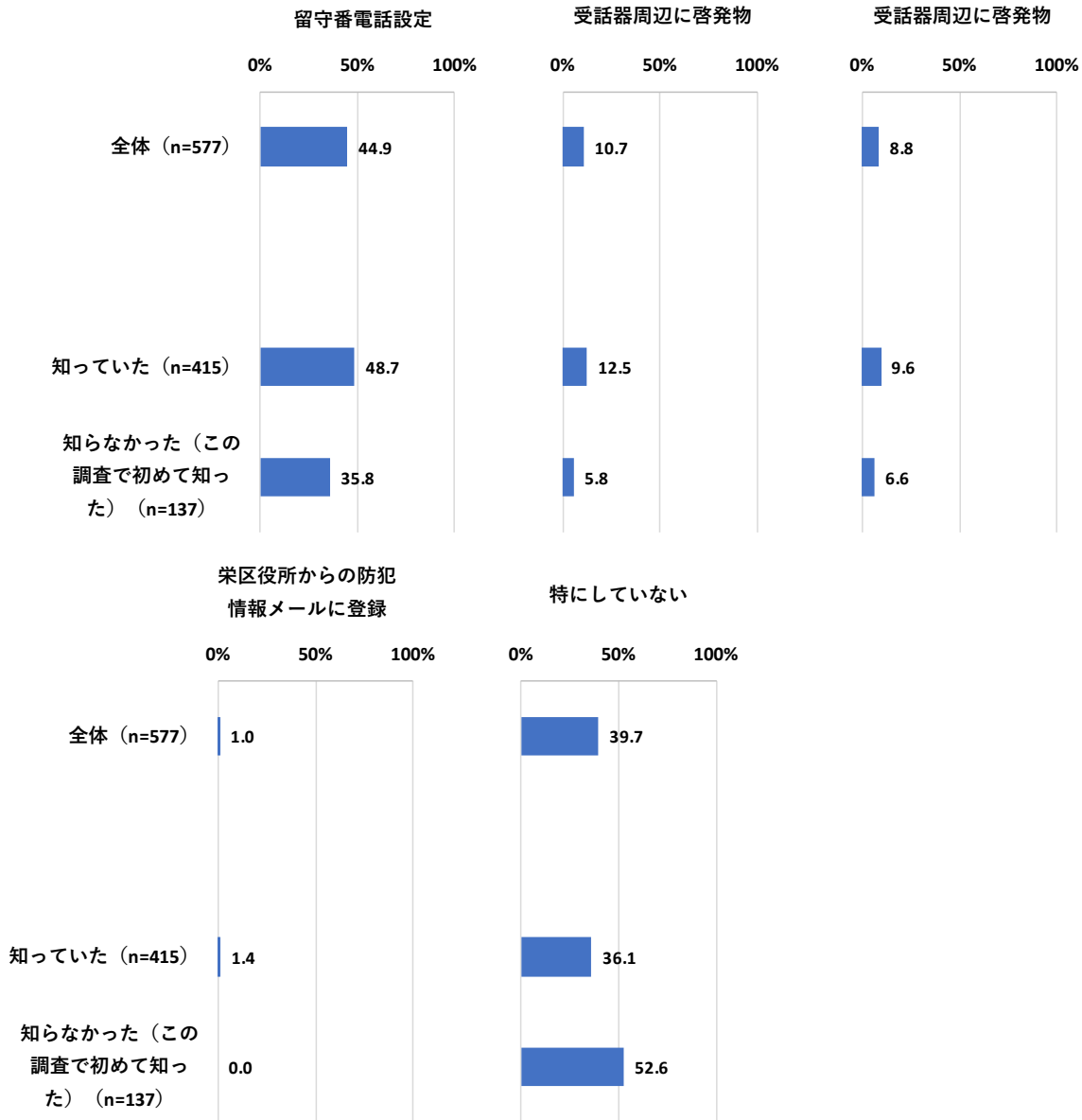
・「親と子と孫(3世代)」では、「知っていた」の割合が全体より5ポイント以上高い。



【けが・事故の危険性：振り込め詐欺対策別】

16 栄区の犯罪における振り込め詐欺の件数割合は年々増加

・振り込め詐欺件数について「知っていた」の方が「知らなかった」方より振り込め詐欺対策を行っている割合は高い。特に「留守番電話設定」では、12.9ポイント高くなっている。



17 栄区の振り込め詐欺の被害者層は、「60歳代以上」が9割以上を占める

<性別>

・「男性」より「女性」の方が、「知っていた」で、6.7ポイント高い。

<年齢別>

・「70～79歳」では、「知っていた」の割合が全体より10ポイント以上高い。

<居住年数別>

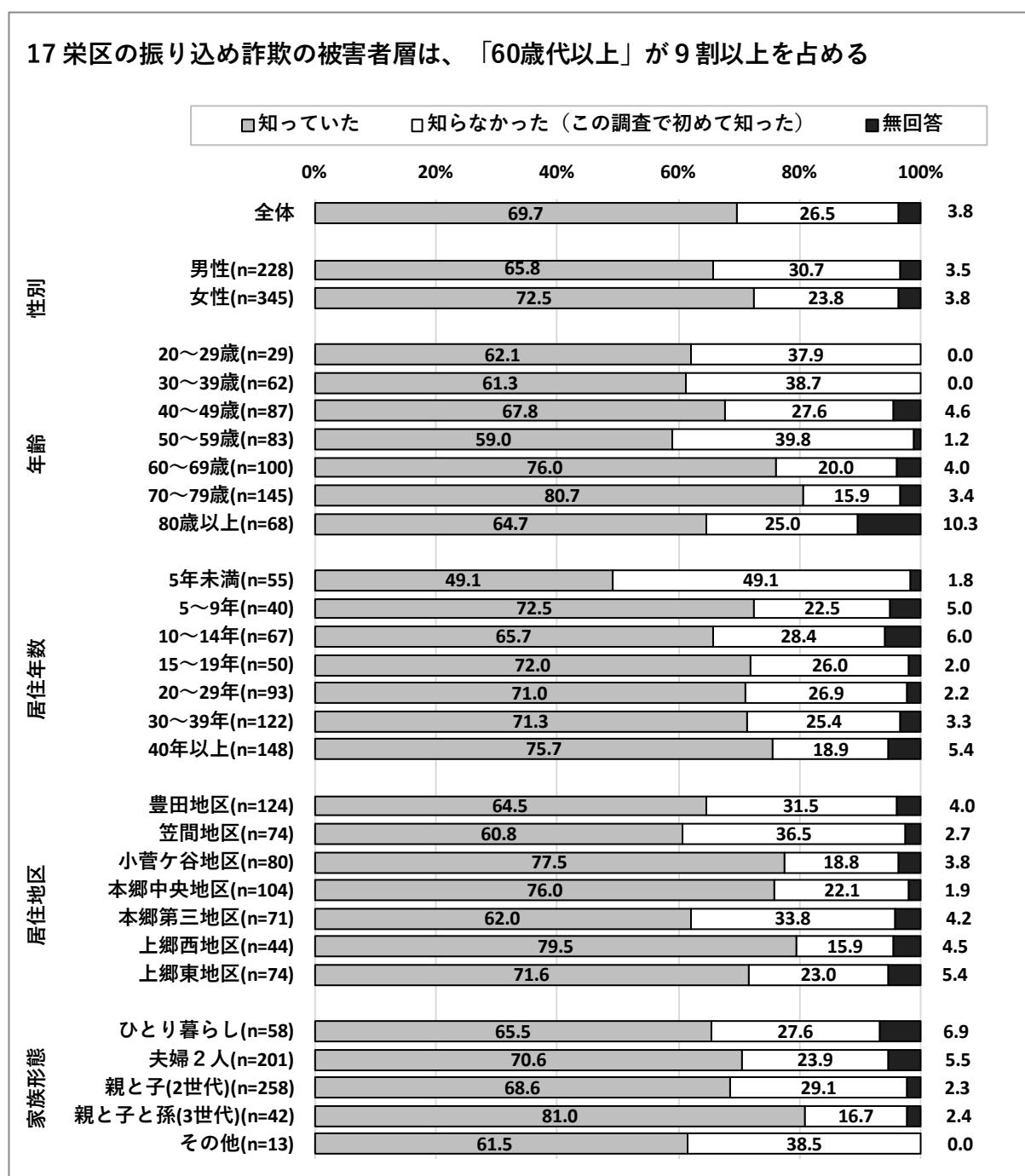
・「40年以上」では、「知っていた」の割合が全体より5ポイント以上高い。

<居住地区別>

・「小菅ヶ谷地区」「本郷中央地区」「上郷西地区」では、「知っていた」の割合が全体より5ポイント以上高い。

<家族形態別>

・「親と子と孫（3世代）」では、「知っていた」の割合が全体より10ポイント以上高い。



【けが・事故の危険性：振り込め詐欺対策別】

17 栄区の振り込め詐欺の被害者層は、「60歳代以上」が9割以上を占める

・振り込め詐欺被害者層について「知っていた」方の方が「知らなかった」方よりそれぞれの振り込め詐欺対策を行っている割合は高い。特に「留守番電話設定」では、9.4ポイント高くなっている。

